



自然災害や環境問題など
私たちが生きる今、そして未来を
土木の力で支えたい

栗田 有紀子 さん
Yukiko Kurita

2005年度大学院工学研究科修士課程修了
東急建設株式会社 一級土木施工管理技士

私たちの身の回りにあふれる土木の世界

最近、工事現場で女性の現場監督を見かけるようになりました。私が、会社に入社した当時はまだ女性の現場監督は珍しく、いろいろな人に「なぜ土木をやっているの?」「どうして建設会社に入ったの?」と聞かれました。汚そう、体力的にきつそうなど、土木にはそういったイメージがあるようです。

土木の語源である「築土構木(土を掘り・堤を築き、木を組み上げ民の生活を安心して豊かなものにするの意)」のとおり、道路や鉄道、上下水道や公園など私たちの生活は土木に支えられているのです。

近年、多発している豪雨や地震など、これらの災害復興も土木

の仕事です。「想定外」の自然の脅威に立ち向かうべく、土木の技術は目まぐるしく進化しています。

現在、私は東急建設という会社でインフラ(社会基盤)の維持管理に関わる仕事をしています。建設会社は「つくる」会社と思われるかもしれませんが、過去につくってきた構造物を効率的に調査・診断し、最適な補修・補強方法も提案しています。大学生活で培った土木の知識やさまざまな人とのつながりを支えとし、これからも社会に貢献し続けていきたいです。